

# 取扱説明書

## エア—駆動攪拌器

### VF-03型シリーズ

- この取扱説明書を読み、内容を理解してから  
当製品の運転、点検、整備を行って下さい。
- 本製品の操作者、管理者は本製品の内容を  
理解していない者に操作をさせてはなりません。

**MEISEIVC™**

株式会社 **メイセイ**

〒509-0246 岐阜県可児市今字立野 762-8

TEL: 0574-65-1666

FAX: 0574-65-1667

Eメール [info@meiseivc.co.jp](mailto:info@meiseivc.co.jp)

ホームページ <http://www.meiseivc.co.jp/>

## 【1】 まえがき

- ★ 本説明書は、当製品を安全に使用するための案内書です。
- ★ 当製品を使用する前に必ず本説明書を読み運転、点検、整備を十分理解した上で使用するようお願いします。
- ★ 本説明書の記載と異なった操作等を行った場合、重大な事故に結びつく事があります。
- ★ この説明書の中に安全確保のための注意事項が記載されています。十分な理解の上で作業をお願いします。

## 【2】 安全上の注意

- ★ 当製品を安全に使用するために、以降の記述内容を必ずお守り下さい。
  - ⚠警告: 取扱を誤った場合に、死亡または重傷を受ける可能性があります。
  - ⚠注意: 取扱を誤った場合に、中程度の傷害または軽症を受ける可能性、あるいは物的損傷が発生する可能性があります。

⚠ 警告	
1	供給エアは、水分やゴミ、錆びの無い新鮮エアを供給して下さい。 ☆水分などを含んだエアが供給されるとエアモータが重大破損します。
2	回転中に羽根、回転軸へ接近、接触しないで下さい。 ☆巻き込まれると人身事故や物的損傷の発生のおそれがあります。

⚠ 注意	
1	エアモータは、給油が必要です。
2	供給エア圧力は、0.2MPa～0.6MPaを設定して下さい。
3	当製品を改造したり分解したりしないで下さい。

## 【3】 目次

【1】 まえがき.....	2	【8】 使用上の注意.....	3
【2】 安全上の注意.....	2	【9】 日常運転前の点検.....	3
【3】 目次.....	2	【10】 使用方法.....	3
【4】 概要.....	2	【11】 故障の原因と処置.....	3
【5】 各部の名称.....	2	【12】 仕様.....	4
【6】 購入時の点検.....	3	【13】 空圧回路図.....	4
【7】 設置の方法.....	3	【14】 保証規定.....	4

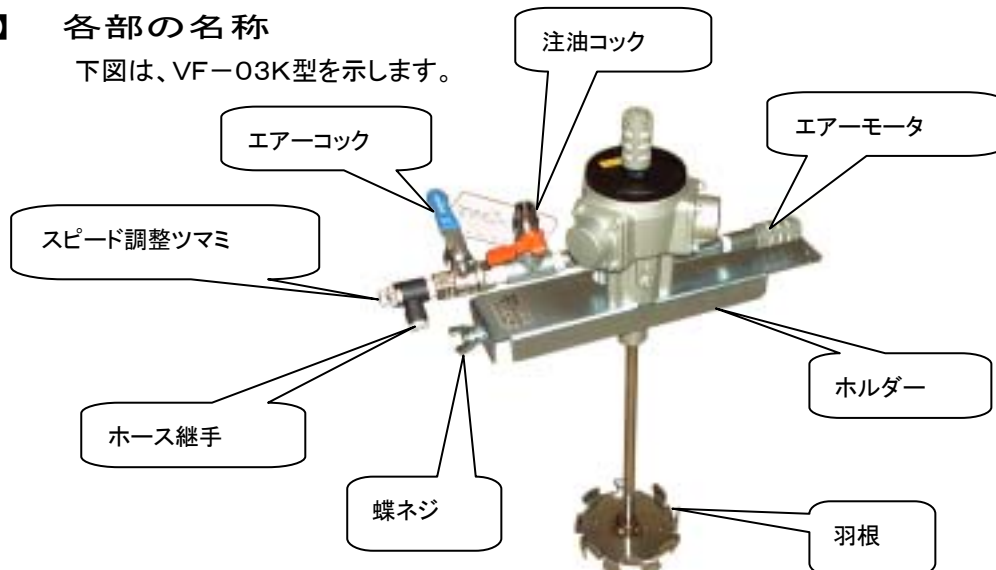
## 【4】 概要

コンプレッサーのエア圧力によりエアモータは、駆動回転します。

羽根が回転されて、液材を攪拌します。エアの流量をスピード調整ツマミで調整することにより回転スピードが調整できます。また、電気を使用しないため防爆エリアでも使用できます。

## 【5】 各部の名称

下図は、VF-03K型を示します。



## 【6】 購入時の点検

- ★ エアー駆動攪拌機を段ボール箱から出された後、下記事項を確認して下さい。
- ① 輸送中に部品の破損がないか確認して下さい。
- ② 不足の部品がないか確認して下さい。
- ★ 万一、不具合や不明な点がありましたら場合は、直ちにご連絡下さい。

## 【7】 設置の方法

- ① ホルダーを一斗缶の中央にセットして蝶ネジで固定します。  
(スライド機構のある機種は、3個の蝶ネジを緩めてタンクに合わせスライドさせ蝶ネジを締め付けます。)
- ② ホース継手にエアーホース(直径8mm)を差し込みます。

## 【8】 使用上の注意

- ① 供給エアーは、水分やゴミ、錆の無い新鮮空気を供給して下さい。
- ② 供給エアーは、圧力が0. 2MPa(2. 1kg/c m<sup>2</sup>)~0. 6MPa(6. 1kg/c m<sup>2</sup>)を供給して下さい。
- ③ ホルダーをセットして蝶ネジで締め付けてしっかり固定して下さい。

## 【9】 日常運転前の点検

- ① 運転開始前と運転4時間毎に注油コックを開き付属のオイルを8滴注油して下さい。  
オイルは、メイセイ特製油スーパー1000を給油して下さい。
- ② エアーマータは、500時間ごとにエンドカバーを外し潤滑油を点検し、補給もしくは交換して下さい。

## 【10】 使用方法





- ① 運転開始前と運転4時間毎に注油コックを開き付属のオイルを8滴注油して下さい。
- ② スピード調整ツマミを右に最後まで回します。
- ③ エアーコックを全開にします。
- ③ スピード調整ツマミを左にゆっくり回し羽根の回転スピードを調整します。調整後は、ツマミのロックをします。
- ④ 停止する時には、エアーコックを全閉にします。

## 【11】 故障の原因と処置

ご使用中にトラブルが発生した場合は、運転を中止して異常箇所を点検修理してください。原因がわからない場合や処置の方法が不明の時には、当社までご連絡ください。または、本体を当社までお送りください。

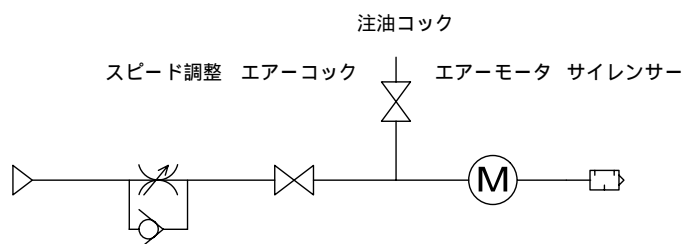
現象	原因	処置
回転しない。	①エアーコックが閉じている。 ②エアー圧力が低下している。 ③スピード調整ツマミが絞り(右回り)過ぎている。 ④モータ内のシール類が摩耗している。 ⑤モータ内に錆がある。	①エアーコックを全開にする。 ②エアー圧力を確認して適正する。 ③スピード調整ツマミを開く(左回り) ④部品交換する。注油する。 ⑤部品交換。供給エアー内の水を除去する。
回転が遅い。 回転ムラがある。	①エアー圧力が低下している。 ②スピード調整ツマミが絞り(右回り)過ぎている。 ③モータ内のシール類が摩耗している。 ④モータ内に錆がある。 ⑤タンク内に異物がある。 ⑥サイレンサーがゴミづまりしている。	①エアー圧力を確認して適正する。 ②スピード調整ツマミを開く(左回り) ③部品交換する。注油する。 ④供給エアー内の水を除去する。 ⑤タンク内を洗浄する。 ⑥洗浄する。部品交換する。
回転数が調整できない。	①スピード調整ツマミの不良	①部品交換する。
異常音がする。	①注油不足。 ②モータ内のシール類が摩耗している。 ③締め付け部が緩んでいる。 ④タンク内に異物がある。	①注油する。 ②部品交換する。 ③ボルト類を増し締める。 ④タンク内を洗浄する。

## 【12】 仕様

型式	VF-03K型	VF-03K-3045型	VF-03D-4560型	VF-03K-6075型
写真				
用途	一斗缶、ペール缶	その他	ドラム缶	その他
タンク外径mm	Φ240～φ300	Φ300～φ450	Φ450～φ600	Φ600～φ750
タンク深さmm	350	450	900	900
サイズ(幅×高×奥)mm	365×485×115	580×595×115	780×1010×115	930×1010×115
重量kg	2.7	3.3	4.2	4.6
羽根:外径mm×個数	Φ114×1個	Φ114×1個	Φ114×2個	Φ114×2個
エ ア ー モ ー タ	最大出力	73.5W		
	最大トルク	0.637N・m		
	無負荷回転数	0～1100R. P. M.		
	最大空気消費量	200N <sub>l</sub> /分(空転時)		
	最高空気圧力	0.6MPa(6.1kg/cm <sup>2</sup> )		

(注意)ハンディタイプ用のVF-03T型(写真下)は、当社にお問い合わせ下さい。

## 【13】 空圧回路図



## 【14】 保証規定

本機は、当社規定の検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしています。取扱説明書、本機注意ラベル等の注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保障期間内に万一、当社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

- 保証期間: 製品を納入申し上げた日より起算して12か月といたします。
- 保証内容: 期間中に本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表れ当社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
- 適用除外: 期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
  - 純正品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
  - 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
  - 製品の構成部品を腐食・膨張、または溶解する様な液材を使用されて生じた故障。
  - 当社以外の手によって修理がなされた場合。
  - 製品に当社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
  - シールやOリング等の消耗部品の摩耗。
  - お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
  - 火災、地震、水害、及びその他の天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
  - 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
  - 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適當な油脂を使用された場合の故障。
  - 日本国外においてご使用の場合。なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品ならびに消耗部品については、保証の適用から除外させていただきます。
- 補修部品: 補修部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。

製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので何卒ご了承ください。